

あけびだより

No. 168

2018年10月1日発行

URL <http://www.akebi.or.jp/>

平成30年10月



絵画教室

橋本幸子 氏

看取りとは

近年「看取り」という言葉をよく耳にします。看取りとは「人生の最後(臨死期)にそばにいて世話をする事」「見守り看病する事」です。今をしっかり生きる事を精一杯考えていらっしゃるご家族や利用者様にとって、「今は考えたくない」と思われるかもしれませんが、心構えや、限られた時間を大切な人と共有するため重要な事だと思います。

「最期をどこで迎えたいか」という厚生労働省の調査では、自宅で最期を迎えたい人が55%、超高齢化社会の進行と、家族形態の変化や社会保障費の財源の圧迫などにより、住み慣れた地域で、人生最後まで自分らしく暮らし続けることが出来るように、医療や介護のみではなく、住まいや生活支援などが連携する動きが進んでいます。終の棲家を目指す「里」でも、初めての看取りをさせて頂きましたのでその話をさせていただきます。

8月31日13時6分、上野慶子様のご逝去されました。

癌末期でかなり状態は悪く、病院で療養される予定でしたが、上野さんの「里に入りたい」という強い思いを何度も聞き、検討を重ねた結果「里」での受け入れをさせて頂くことにしました。

入居当日、病状が悪化し退院は困難な状況でしたが、主治医の先生が「今帰らないと、もうチャンスはないよ」と家族の背中を押してください、8月24日入居となりました。24時間持続点滴・人工肛門・在宅酸素使用で医療依存度が高い状況でしたが往診医の協力があつたので安心でした。内服、食事は中止でしたが「薬を飲みたい」と強い希望があり、処方してもらい亡くなる前日まで内服され、パーキンソン病患者様の薬に対する強い思いを感じました。「上野さんが口に出来るものなら何でも食べていい」と指示頂いたので「澄まし汁・ホットミルク・アイスクリーム」を召し上がられました。特に亡くなる前日のアイスクリーム・・・日々状態が悪化し、この状態で食べさせていいのか?と戸惑いもありましたが、とても美味しそうに召し上がられてたのを思い出すと「よかったね」とスタッフで話しています。亡くなられるその日にも「トイレに座りたい」という要望があり、3人がかりでポータブルトイレに座り用も足せました。「生きる」事への執念を見た気がしました。

入院中ずっと会いたかった、3か月の曾孫ちゃんと会えた時は入居中一番の笑顔。ご主人・娘さん家族・ご兄弟の面会では長い時間過ごされ、鍼灸師である息子さんには針もしてもらわれました。最期は、大切なご主人、娘さん、たくさんのあけびのスタッフに見守られながらご主人の「すまなんだな」を聞いた後に息を引き取られました。家でも、施設でも、どこでも、自分をよく知ってくれている人と過ごし、人の声で安心感に満ち、生活音がBGMのように心地よく聞こえてくる環境。病院では出来ない、その方の希望や願いを現実にし、出来る限り個人の意思を尊重した時間が過ごせるような場所に「里」をしたいと思います。

上野さん、初めての看取りとなり貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

最期まで自分の意志を通した生き方に深く感銘を受けました。ご冥福を心よりお祈りいたします。

訪問看護ステーションあけび 鈴木美代子

認定特定非営利活動法人あけび

認定NPO法人あけび 事務所

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

グループリビングあけびの里

TEL 079-262-6707 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

訪問看護ステーションあけび

TEL 079-262-6708 FAX 079-262-6703

訪問介護ステーションあけび

TEL 079-262-6702 FAX 079-262-6703

〒672-8064 姫路市飾磨区細江473-10

Mail: day@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの実

〒670-0804 姫路市保城363番地の3

TEL079-280-6931 FAX079-280-6932

Mail: akebi-no-mi@akebi.or.jp

通所介護施設デイサービスあけびの輪

〒670-0952 姫路市南条1丁目101-1

TEL079-284-0055 FAX079-284-0056

Mail: akebi-no-wa@akebi.or.jp

あけびの実



須磨水族館へお出掛け

須磨水族館へミニ旅行に出かけました。遠出の外出は久しぶりです。レストランでは好きなものを選び、アザラシにタッチできるという体験も経験し、イルカショーではイルカの可愛しさや賢さに皆歓声を上げて楽しんでおられました。少し食後の休憩…またりと海風を感じベンチに転び背中を伸ばす最高の時間です。



絵画展



あけびの花



あけびの実の畑のあけびの花が今年もきれいに咲きましたよ～。

藤原佑造様の仏画が展示されているとお聞きし、皆で見に行きました。色々な作品が所狭しと配置しており、どれも素敵な作品で感動しました。

毎年恒例のあけびの実の利用者様の絵画作品展に見学に行きました。一年間かけて大作を何点か描いておられ、いつも見事に大きな絵を完成されています。生きがい見つけれられてよかったですね。



嚙下相談会



作品づくり



西播磨の作品展に出展するため小鳥の色塗りをしています

今年も芋のつるを頂き、朝からもちろん男性にも手伝ってもらい、すし取りをしました。食卓に並んだきんぴらは古家さんや和泉さんの魔法の手で美味しく仕上がっています。



杉下先生の嚙下指導を行いました。おいしそうなお弁当ですが、皆緊張して食べづらそうでした。



誕生会



和田さんの誕生日のお祝いで、ゲーム大会をしました。気持ちを合わせて 1. 2. ソー— 和田さんは「80歳を無事超えられて良かったと、奥さんや皆に感謝しています」とおっしゃっていました。

あけびの輪

交流会

実と輪の交流を計画しました。なかなか交流する機会がなく新しい利用者様は初めての方もおられました。赤白に分かれ、ゲーム大会をしたのですが、競争になると力が入るのはいつものこと。賑やかな時間はあっという間に過ぎ、皆さんから「楽しかった～」との声を沢山いただき「またこんな時間を作りましょう」と約束しました。



誕生会



お出掛け



相生からご夫婦で来られている岸野さんの誕生日にフラダンスチーム フラハラウ・オ・レアアさんに来ていただきました。恋の花を咲かせるストーリーですが、お話し上手に乗せられてワクワクして見ました。笑顔も手の動きも素敵でした。

作品づくり



西はりま病院の展示会に出す予定の紫陽花の花束が完成しました。花びらは、最低1枚から何百枚以上の折り紙をすべての利用者さんに折っていただきました。間に合ってよかったです。

円照寺 白色、黄色、ピンクの彼岸花が咲いていました。彼岸花に色々な色があるのにビックリされていました。季節季節の花が咲き、お花好きの人にとってはたまらない所ですね。

長谷洋幸氏

見野交流館
1964年開催された東京五輪で

都道府県で聖火リレーが行われました。姫路を通過した時の記録が展示してあり、懐かしい感じがしました。2020年も元気で見たいものです。



計報

9月8日 前理事長 白石武夫氏 食道癌の為死去されました。享年80歳でした。
平成16年4月開所当初から平成29年5月まで、長きにわたりNPO法人あけびの理事長をお引き受け頂きました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

9月9日 午前 国立精神・神経医療研究センター病院長の村田美穂先生が膵臓がんのため逝去されました。享年60歳でした。

村田美穂先生はパーキンソン病の診療・研究・教育に大きな足跡を残されました。
我が国の脳神経内科のリーダーとしても多大な貢献をされ、女性脳神経内科医のロールモデルでもあらわれました。

パーキンソン病友の会でも長年にわたり、多大なご尽力をいただきました。
心より哀悼の意を表します。

村田美穂先生と言えば、あけびの10周年記念講演会でお話をして頂いたのを記憶しておられる方も多いと思います。

村田美穂先生を10周年にお呼びしたきっかけは、あけびが「ワークハウスあけび」として産声を上げた時からの出会いがありました。

「ワークハウスあけび」は平成16年4月に若年性パーキンソン病の就労を目的とし、福祉作業所として開所されました。仕事の内容としてはパソコンでの作業を考えていましたが就労となるまでには少し時間が必要でした。収入を得るには・・・試行錯誤している時、イーライリーから「神経内科医の集まりが神戸であります。お土産として持って帰っていただけるもの。あけびの名前を出して良いので宣伝をして下さい。」と、300個のご注文を頂きました。

私達はイーライリーさんのご配慮が嬉しくて喜んで受けましたが、さて何を・・・?と随分悩んだ末、当時始めていた押し花のはがきをつくることにしたのです。その工程には色々ありましたがとにかく皆が力を合わせた大きな仕事でした。

神戸で開催された集まりには神経内科医の一人として村田美穂先生も御出席されて居たのでしょう。この時の可愛いはがきとワークハウスあけびのことをしっかりと記憶に留めておいて下さったのです。私が「村田美穂先生にお会いしたのは平成19年3月のですがその時は色々とお話をしたように思います。それからはお会いするたびに先生の方からどうですか?とお声をかけて下さるようになりました。「あけびの里」のこともとても興味を持たれ「私もしたいのよね」と言われていましたね。もう村田先生のご意見は聞けないのですね。残念です。心よりご冥福をお祈りいたします。

お知らせ

パーキンソン病友の会 兵庫県支部姫路ブロック

*10月患者家族交流会 10月21日(日) 13:00~

*11月患者家族交流会 11月18日(日) 13:00~

*12月患者家族交流会 12月5日(水)

兵庫県の患者家族交流会に参加します。

バスが出ますので一人でも多く参加して下さい



新しい里の住人を紹介します。高嶋様。輪を利用して皆さん顔なじみばかりですが、初日は緊張されていました。楽しく過せる様にお手伝いできればと思います。

職員研修会 嚥下について 杉下修平先生

*11月11日(日) 10:00~12:00

2ヶ月に1回嚥下相談会を行っていますが、職員として何に注意すればよいか、という意見が出され、今回のテーマで研修会を計画しました。

嚥下のメカニズム・誤嚥対処法・食事の形態や工夫・嚥下障害のある方の食事介助法・オフ時の服薬方法等お話しして頂けるようお願いしています。調理担当の方もぜひ参加して下さい。



「卓球クラブ」10月の練習

10月9日(火)10月23日

場所：ルネス花北体育館
持物：上靴・ラケット

連絡は (280-6931)